

ほうふ

Hofu

発行／防府市議会

編集／議会広報編集委員会

〒747-8501 防府市寿町7番1号

TEL 0835-25-2182 FAX 0835-25-8179

URL <https://www.city.hofu.yamaguchi.jp/site/sigikai/>

E-Mail gikai@city.hofu.yamaguchi.jp

しぎかい 市議会 だより No.73

令和6年5月1日

市庁舎の歴史を紹介 No.2 昭和29年当時の市庁舎

昭和29年2月11日に市役所の総合庁舎が現在の寿町に竣工しました。消防庁舎も併設され、藤本町から移転しました。



3月定例議会

議案の概要 P2～P3
一般質問 P4～P9
議会モニターとの意見交換会 P9

議員研修会 P10
6月定例議会の予定 P12



議会中継及び録画映像がスマートフォンで見られます! [防府市議会](#) 🔍



議会中継はこちら

令和6年 3月 定例議会

3月定例議会は2月26日から3月22日までの会期26日間の日程で開催されました。

市長から「能登半島地震について」「高病原性鳥インフルエンザへの対応について」の行政報告があり、令和5年度一般会計・特別会計・上下水道事業会計補正予算、令和6年度一般会計・特別会計、上下水道事業会計予算など議案58件、推薦1件、選任2件、報告7件を審議し、原案のとおり可決しました。

主な議案等と審議経過の概要をお知らせします。


「賛否が分かれた議案に対する議員の態度」は、P3をご覧ください。

予算

■令和5年度一般会計補正予算

1億6,581万7千円を増額し、補正後の予算額を588億8,148万円としました。

主な事業（補正額）は次のとおりです。

- ・小・中学校長寿命化改良事業 (13億8,400万円)
対象校
華浦小学校（南校舎）
佐波中学校（屋内運動場）
国府中学校（南校舎）

- ・小・中学校トイレ洋式化事業 (2億8,800万円)
小学校高学年、中学校のトイレを洋式化します。
(令和7年度完了予定)
- ・キリンレモスタジアム武道場空調設備整備事業
空調設備の設置及び屋根の改修をします。
(3億4,900万円)
- ・子ども家庭センター整備事業 (3億1,000万円)

■令和6年度一般会計予算

当初予算規模は、対前年度比46億8,000万円増の595億6,000万円（過去最大）とする予算案が提出され、賛成多数で可決しました。（賛否No.1）

主な事業（予算額）は次のとおりです。

- ・新庁舎建設事業（本体工事） (63億1,044万円)
- ・広域防災広場整備事業 (10億2,400万円)
- ・（仮称）公会堂北防災広場整備事業 (6,100万円)
- ・消防署東出張所整備事業 (1億7,500万円)
- ・牟礼公民館整備事業 (2億3,261万円)
- ・防災ラジオ緊急配備事業 (6,000万円)
- ・住宅耐震リフォーム緊急支援事業 (1,000万円)
- ・農道牟礼小野線整備事業 (1億5,500万円)
- ・防府北基地東道路整備事業 (1億8,183万円)
- ・華城小学校周辺道路整備事業 (1億8,050万円)
- ・空家利活用促進事業 (1,264万円)
- ・子ども家庭センター整備事業 (2億4,548万円)

- ・9月～第2子以降の保育料無償化 (25億3,826万円)
第2子以降の3歳未満児の保育料を無償化します。
- ・10月～高校生まで医療費無償化 (5億2,704万円)
- ・10月～児童手当の拡大・拡充 (20億8,277万円)
対象を高校生までに拡大します。
第3子以降への支給額を3万円に拡充します。
- ・児童扶養手当支給事業 (4億6,159万円)
所得制限限度額の引き上げや、第3子以降の加算額を第2子と同額となるよう増額して支給します。（令和6年11月分から）

- ・妊産婦伴走型支援事業 (1億2,393万円)
- ・妊婦健康診査事業 (1億500万円)
- ・妊婦健康サポート事業 (3,000万円)
- ・3歳未満児保育体制整備事業 (5,000万円)
- ・新入学児童用かばん支給事業 (1,700万円)
- ・地域クラブ推進事業 (2,273万円)
- ・華城留守家庭児童学級建設事業 (1億4,884万円)
- ・学校支援員及び通級指導員の充実 (1億871万円)
- ・夜間オンライン診療導入事業 (1,409万円)
- ・公共交通対策事業 (2億849万円)
- ・がんばる地域応援事業 (1,000万円)
- ・市有施設への省エネ設備導入 (5億1,547万円)
- ・エコライフ住宅推進事業 (5,000万円)
- ・防府駅南北自由通路整備事業 (1億2,000万円)
- ・チャレンジ!! 土地利用型農業成長育成事業 (2,757万円)
- ・産業団地整備事業 (3,700万円)
- ・スポーツ協会100周年記念事業 (3,800万円)



■令和6年度特別会計予算・上下水道事業予算

7つの特別会計予算、4つの上下水道事業会計予算を可決しました。（賛否No.2～5）

条例

■事務分掌条例の一部改正

市役所組織の「健康福祉部」を再編し、新たに「保健子ども部」と「福祉部」を設置等するものです。

■基金の設置、管理及び処分に関する条例の一部改正

「防府市子ども未来基金」を設置するものです。

■非常勤職員の報酬、費用弁償及び期末手当に関する条例の一部改正

議員、行政委員会の委員等の報酬を改定するものです。
(賛否No.6)

■市長等の給与に関する条例の一部改正

市長、その他特別職の給料月額を改定するものです。
(賛否No.7)

■職員退職手当支給条例の一部改正

教育長、常勤の監査委員及び上下水道事業管理者の退職手当の額を改定するものです。
(賛否No.8)

■体育施設設置及び管理条例の一部改正

市スポーツセンター野球場の改修に伴い、設備及び器具使用料を見直すものです。

■議会政務活動費の交付に関する条例の一部改正

政務活動費の使途基準に要請・陳情活動を追加するものです。

人事

■監査委員の選任

再任 ^{よしまつ}吉松 ^{たかし}隆 さん

■固定資産評価審査委員会委員の選任

再任 ^{うえだ}上田 ^{あきひろ}明弘 さん

■人権擁護委員候補者の推薦

再任 ^{いわき}岩城 ^{かつえ}克枝 さん
新任 ^{みわ}三輪 ^{さとし}知志 さん

— 賛否が分かれた議案に対する議員の態度 —

○賛成 ×反対

賛否No	令和6年第1回定例会(3月)	会派・議員名																			賛否の合計		議決結果							
		自由民主党									公明党		絆	正論	無所属の会		市民クラブ		日本共産党		日本の再独立を自派の会			防府一番						
		青木	上田	宇多村	梅本	河杉	曾我	田中敏	橋本	藤村	安村	吉村	河村	高砂	村木	三原	山田	今津	和田	久保	森重	田中健		清水	石田	松村	賛成	反対		
1	令和6年度一般会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	21	2	原案可決	
2	令和6年度国民健康保険事業特別会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	21	2	原案可決
3	令和6年度介護保険事業特別会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	21	2	原案可決
4	令和6年度後期高齢者医療事業特別会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	21	2	原案可決
5	令和6年度水道事業会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	22	1	原案可決
6	非常勤職員の報酬、費用弁償及び期末手当に関する条例の一部改正について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	22	1	原案可決
7	市長等の給与に関する条例の一部改正について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	22	1	原案可決
8	職員退職手当支給条例の一部改正について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	22	1	原案可決
9	介護保険条例の一部改正について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	22	1	原案可決
10	漁業集落排水処理施設設置及び管理条例及び下水道条例の一部改正について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	21	2	原案可決

※賛否が異なる議案等を掲載しています。ここに掲載していない議案等は、全会一致で可決しました。

※田中敏靖議員は議長のため、通常は採決に加わりません。

Q&A

一般質問



3月定例議会では、16名の議員が市政について質問しました。

ここでは議員本人が要約した質問と答弁の一部を発言順に掲載しています。また、6月に会議録を製本予定ですので、市役所1号館1階閲覧コーナー、防府図書館、ホームページで見ることができます。

各見出しに掲載されている二次元バーコードから、各議員の一般質問の様子を録画映像でご覧いただくことができます。

なお、本欄は、議員本人が質疑の内容を要約したものを掲載しております。



会議録はこちら



農福連携の促進。青年世代との連携による市民活動の推進。アライグマ対策

河村 孝 (公明党)



問 今年度本格的スタートした農福連携促進事業は、人手不足の農業と障がい者の生きがいや就労へのきっかけづくりなどで注目されている。さらなる事業展開やマッチングの推進が求められる。今後の事業推進は。

市長 将来的に、恒久的で自立した農福連携を「防府モデル」として構築し定着のために、今年度の事例集等を作成し広く周知し、必要な支援をしっかりと行う。

問 市民活動を青年世代との連携・協働を推進していくことは、まちづくりに重要。青年世代が活動しやすい環境整備として、ボランティア手帳の作成、安心して活動できる支援、市民活動支援センターの充実などが

考えられる。今後の市民活動の推進は。

市長 ボランティア手帳の作成・配布や、「地域貢献活動保険」の利用や新年度の「がんばる地域応援事業」が活用できることを周知し、市民活動支援センターの充実により、若い世代の市民活動を支援する。

問 アライグマの被害が、農作物だけではなく屋根裏への侵入など広がり、専門の駆除業者に委託しても費用が高額になる傾向がある。アライグマ対策は。

産業振興部長 被害が市内全域に広がっている。市民へ周知する啓発活動や箱わなを用いた積極的な捕獲など、猟友会などと一体となって取り組む。



防府市が目指すべき農業

今津 誠一 (正論)



問 世界同時食糧危機が言われている。世界の人口は今後も増え続け、現在の80.5億人が2050年には約100億人に達すると予測されている。

これまで世界の食糧を賄ってきた大規模機械化農業が化学肥料や農薬を使い続けてきた結果、土壌の劣化や地下水の枯渇等を招き収穫量が減少するとともに、ヒトの健康や生態系をも毀損している。

また、我が国は、作り手の不足、自給率の低さ、食の安全が保たれていないこと、農業保護が不十分なこと等多くの課題を抱えている。

今後、世界的食糧危機にいかに対処すべきか、防府

市民の食の安全を守るためどのような農業を目指すべきと考えるか。

市長 水稻を中心に野菜を組み合わせた土地利用型農業を推進する。

問 エネルギー、肥料、農薬等の価格高騰でほとんどのコメ農家は赤字経営を強いられ、激減している。食糧自給のためには、世界の国々同様、農家への所得補償が不可欠だがいかがか。

産業振興部長 (明確な答弁なし)

意見 太陽光発電施設の建設で農地が約90ha減少している。条例による規制に前向きに取り組んでほしい。



令和6年度当初予算について 陣痛タクシーへの取り組みについて

梅本 洋平(自由民主党)



問 昨年の当初予算編成時の、中期財政見通しで見込んでいた財源不足額が想定以上に拡大することが見込まれている中で、当初予算には新たに様々な施策が盛り込まれた。この予算に込めた市長の思いを伺う。

市長 急激な物価高騰等により財源不足が拡大する中でも総合計画を確実に実現できるよう「まちづくりを進める」「子どもたちを全力で応援する」ことを大きな柱とし、防府市の「未来が開く予算」として編成した。

医療センター隣接の広域防災広場や新たな道路網の構築を進める。農業の成長産業化、子ども家庭センター整備や高校生まで医療費無償化などによる総合子育て支

援、防災・観光もしっかりと対策を講じた。過去最大規模の予算となり市債残高も過去最高となったが交付税措置のあるもの、措置率の高い地方債などの活用により財政基盤を堅持できるよう計画的な財政運営に努める。

問 妊婦さんの悩みの一つに陣痛時の移動手段がある。事前に住所やかかりつけ医などを登録し、陣痛時に優先的に配車をする陣痛タクシーを検討してはどうか。

市長 「陣痛タクシー」は妊婦の方が安心して出産を迎えることができるセーフティネットの役割を果たすものと考えている。市内には導入を前向きに検討されている事業者もおられるが、妊婦の対応に不安を覚える運転手の方も多く、また近年の運転手不足により十分な体制を整えることができない状況と伺っている。市としては「妊婦対応タクシー研修会」を行い、防水シートの配布などに取り組んでいる。陣痛タクシー導入に向け医師会や助産師会、タクシー事業者と連携して検討していく。



三田尻塩田記念産業公園の整備について! ◆不法投棄について!◆公民館の防犯対策について!

山田 耕治(絆)



問 塩田記念産業公園の来園者数の推移と整備状況は?

市長 令和元年が3,506人、令和5年は2,793人で、必要に応じて修繕を行っている。

問 登録有形文化財の釜屋煙突の管理は?

市長 日々の目視と、月1回、角度計で確認している。

問 歴史教育で、体感用のレプリカも考えてみては?

市長 魅力ある体験を検討する中で考える。

問 青少年科学館と連携し、学校教育に活かしては?

教育長 連携を図り、社会科教育として活用したい。

問 塩で栄えた街として石川県珠洲市と交流しては?

市長 観光振興につなげたい。

◆不法投棄について!

問 近年の不法投棄に対する相談件数は?

生活環境部長 令和4年度は34件、5年度は2月末現在で36件となっており、ほぼ横ばいの状況。

問 不法投棄防止の看板管理をすべきでは?

生活環境部長 管理番号を付けており、管理する。

問 市内でトラック等の車両が駐停車している箇所の改善や抑制に対する考えは?

土木都市建設部長 注意看板等で対応しているが、監視・防犯カメラの設置などを検討し対応する。

◆公民館の防犯対策について!

問 防犯対策の中で、防犯カメラ・さすまたを整備し、防犯訓練をすべきでは?

教育部長 防犯カメラの設置、さすまたの整備も考慮し、防犯訓練の実施など対策強化に努める。



今後の防災の取り組みについて、 防府市の観光振興について

宇多村 史朗(自由民主党)



問 本年1月1日に能登半島地震が発生した。南海トラフ地震などを想定した地震への、さらなる防災力の強化に向けた取り組みについて伺う。

市長 この度の能登半島地震では、大地震がいつ、どこで起きるか分からない。新庁舎や広域防災広場を整備、住宅の耐震性能の向上を図ることができる住宅改修支援、土砂及び津波の警戒区域内の世帯に緊急告知防災ラジオを配備、防災士等と連携した「子ども防災士」の育成を行う。「子ども家庭センター」のエリアを、妊産婦や、乳幼児をもつ家庭等の避難場所とする。4月から、防災担当課に退職自衛官、消防職員、女性職員を各2名配置と

し災害時における初動の72時間対応の体制強化を図る。

問 本年1月9日に、アメリカのニューヨークタイムズが「2024年に行くべき52カ所」を発表し、日本から唯一「山口市」が選ばれた。防府市の観光にとって大きなチャンスとなる、今後の観光振興に如何に取り組んでいくか。

市長 ニューヨークタイムズ紙の効果と併せ、瑞風の来訪決定も重なり、毛利氏庭園、防府天満宮周辺、防府駅周辺について、重点的に誘客に取り組む。また、防府の価値を高める絶好のチャンスであり、「歴史のまち防府」を全国に向けPRしていく。そして瑞風の来訪に併せ、「歴史のまち防府」をテーマに、世代を問わず聞きたくなるような、トークセッションを開催する。瑞風の来訪やニューヨークタイムズ紙の効果を新たな観光のスタートとして、目標の観光客数300万人の早期達成を目指す。毛利氏庭園では、イベントの実施や、新たなコンテンツを造成し、旅行会社への売り込みを強化する。



能登半島地震のような人災を、二度と繰り返さないために

石田 卓成 (日本の再独立を目指す会)



被災地では、発災直後より自衛隊や緊急消防援助隊、警察など、多くの関係機関が救助活動を行ったが、指揮をとる県行政の機能不全や、関係機関の連携不足により、混乱が続いた。なぜ、プロであるはずの、これらの機関に、当たり前の災害対応が出来ないのか、今回の活動の失敗をしっかりと検証し、直ちに対策をすべきである。

問 水道・下水道の耐震化や、無電柱についても国の国土強靱化7割予算を活用できるように要望しては？

市長 国に要望していく。

問 重機を所有する消防団員との連携について

消防長 消防団としっかりと連携し、災害対応力向上を図る。

その他の質問項目 ・大規模地震により、道路が寸断

され、かつ携帯電話通信も遮断されてしまった場合の、被災状況の把握は警察組織が行うべきでは？

・防府消防では、防災ヘリで孤立した救助現場に資器材と隊員5名を、上空から直接送り込める仕組みを、すぐに整えてくださったが、全国にも広めては？

・解体業者とも災害時応援協定を締結するとともに、既に協定を締結している建設業協会加盟会社の重機等の保有台数を事前に把握しておくべきでは？

・入札制度による重機不足の課題解決について

・孤立エリアに支援物資を届ける際のヘリの活用については、スリング吊り下げ方式で行うべきでは？

・関係機関との合同訓練についてはブラインド方式で行い、大いに失敗をしてもらった後に、事後検証をすべきでは？

・自衛隊員に個人装備品が貸与されない問題について

・119番回線が遮断した場合の迂回回線について



子育て支援の充実 市街化区域の見直し

藤村 こそえ (自由民主党)



問 市はこれまで市独自の子育て支援策として「ほうふっ子応援パッケージ」や、子どもの安全対策、学校環境の整備など、様々な子育て施策を講じ、「防府は子育てしやすいまち」という多くの声も聞いている。令和6年度は高校生までの医療費無償化や「こども家庭センター」の開所も進められる。他市も子育て支援に力を入れてきている現状において、本市もこれまで以上の更なる子育て支援の充実が必要と考えるがお考えは？

市長 こども未来基金の設置、子育て支援の司令塔で保健こども部を新設。新年度予算では防府の未来に向けて子どもたちを全力で応援する、未来が開く予算と

した。国に準じて児童手当の拡充、就労要件を問わず保育園が利用できるこども誰でも通園制度、第2子以降の3歳児未満の保育料無償化など実施。市単独では、医療費無償化の拡大、妊婦健診での歯科健診、産後ケアの無償化などを行う。防府でできることは全力で取り組む。

問 市街化調整区域でありながら、宅地化が進んでいる地域が散見される。例を挙げると、華城地域では西慶田団地と伊佐江地区がそれにあたる。今後、区域区分の見直しをする必要があると考えるがいかがか。

市長 現在進めているまちづくりは形となって現れ始めマンション、住宅、店舗が建設され、人口は社会増である。今後もこの流れを止めることなく、本市が持続的に発展していくため、次期総合計画において市街化区域の見直しをしっかりと行っていく。



1.安心・安全の水の確保について 2.スポーツのまち防府が 輝き続けるため、今後のスポーツ振興の取り組みについて

村木 正弘 (公明党)



問 小野地域では生活に必要な水を井戸からポンプでくみ上げ確保している。昨秋からの少雨の影響で佐波川の取水制限が実施された。異常気象より渇水し、再掘削費用などが負担になっていると聞かすが、市の考えを伺う。

市長 災害や事故により断水した場面で、飲み水や生活用水として貴重な水源となるのが井戸水である。近年の異常気象による渇水の発生状況を踏まえ、井戸に対する市の対策を検討する上でも、まずは井戸の利用や井戸水の枯渇状況について市全体を対象に実態を把握していきたい。

問 優れたスポーツ資源を活かし、交流人口の増加を

図るための各関係機関と連携を伺う。

市長 防府観光コンベンション協会などと一体となり、合宿や大規模大会の誘致に取り組み、観光地の紹介や物産販売、施設・宿泊ホテルの調整、助成の紹介など、きめ細やかに対応をしている。

問 子どもたちのスポーツ環境の整備について。

市長 野球場は学童野球のメッカに、競輪場は子どもたちが自転車に親しめるよう整備。猛暑対策として武道館、サンライフ防府には空調を。また、向島運動公園には日よけを設置し熱中症対策に取り組む。子どもたちに夢を与える合宿や大会の積極的な誘致、中学校部活動の地域クラブへの移行・推進など、スポーツ協会が役割を十分に果たせるように大幅な体制強化を行い、次の100年に向けて最高のスタートが切れるよう取り組んでいく。



**公民館の整備・建て替えについて
ダブルケアラーについて**

青木 明夫 (自由民主党)



問 能登半島地震の現地報道を見ても、地域住民の安全・安心を支える拠点としての公民館の防災機能は必要だが、公民館の建て替えに取り組まれるのか。

市長 自治会等の新たな取り組みを支援するため「がんばる地域応援事業」を実施することとしている。老朽化が著しい中関公民館、危険な場所にある大道と華浦公民館について、具体的な移転、建て替えを検討するための経費を新年度予算に計上。移転、建て替えに当たっては、候補地は地域の意向を最大限尊重したい。次期総合計画に具体的な移転、建て替えを位置付け、確実に進めたいと考えている。華浦公民館は、地域の

特性を考慮するなど、まちなかにある公民館のモデルにしたいと考えている。

問 子育てと家族の介護を同時に迫られるダブルケアラーの実態把握について。

健康福祉部長 すべての産婦の面談や乳幼児健診、保育所の入所手続きでの面談。ケアマネジャーなどが介護者宅を訪問した際、相談など、様々な機会において把握に努めている。

問 育児・介護の孤立を防ぐ支援策について。

健康福祉部長 育児は子育て世代包括支援センター、介護は地域包括支援センターと連携して、必要な支援を行っている。4月から開設する福祉総合相談窓口では、生活困窮、引きこもり、ヤングケアラーなど、複数の相談を一元的に受け付ける。



**観光振興について
ため池について**

久保 潤爾 (無所属の会)



問 NYタイムズの報道で、山口市での大幅なインバウンド(外国人観光客)の増加が見込まれる。これらの観光客を防府市に誘導できれば観光振興に大きく貢献すると思われるが、どのように取り組むのか？

市長 コロナ制限緩和後、インバウンドの回復を見据え、観光案内所に英語対応可能なスタッフを常駐させ、多言語パンフレット等の充実を図ってきた。また、インバウンド向けの歓迎看板や、説明板を設置した。NYタイムズの報道を受け、速やかに日本最大級の訪日外国人向け情報サイトへ英語による情報発信を行ったほか、韓国・台湾へSNSを活用しPRを行った。

瑞風の防府駅立ち寄りなど様々な好機が重なるこの状況を活かし、観光振興に取り組んでいく。

問 防災・環境保全など多面的な機能を有しているため池だが、高齢化・組織の弱体化により、維持が難しくなっていく箇所が増えると予想される。現状認識と対策は？

産業振興部長 市内には351箇所のため池があり、管理者にはマニュアルを随時配布し、梅雨前の点検やパトロールを行っている。しかし、ご指摘のとおり、維持管理が難しくなるため池も増えている。このような状況の改善策として、県や市の土地改良事業により、改修を実施している。また、利用がなくなったため池については、関係者から同意を得た上で、地元の負担を求めることなく廃止を行っている。今後も、防災、農業振興の観点から、管理者や地元の意見をしっかりと聞き、必要な対策を検討していく。



**災害対策の充実・強化を！
～耐震改修、廃棄物、女性や乳幼児**

田中 健次 (市民クラブ)



問 旧耐震基準の住宅は、耐震改修を促進することが必要だが、どう考えているのか。

土木都市建設部長 新年度予算において、耐震改修費の補助金を大幅に増額し、また緊急的な取組みとして、寝室等の1部屋からでも耐震改修が可能な支援を行う。

問 災害廃棄物の仮置場は、どの程度確保されているのか。

生活環境部長 各自治会に災害廃棄物ステーションを1か所、市民から搬入された廃棄物を集積・保管する



一次集積所を各小学校区に1か所、二次集積所をクリーンセンター周辺に設ける。

問 女性・妊産婦・乳幼児向け用品の備蓄は、どの程度確保しているのか。

総務部長 避難場所の防災倉庫への備蓄のほか、新年度に、「こども家庭センター」を旧JA華城支所に整備し、このエリアを妊産婦や乳幼児をもつ家庭の災害時の避難場所として活用する。また、センターに併設する防災倉庫を女性や妊産婦、乳幼児向け用品の備蓄拠点とし、ここから各避難場所へ供給する。

その他の質問項目

- ◆不登校について、①市の状況、②オアシス教室の移転先、③「学びの多様化学校」への考え方
- ◆ひきこもりについて、①市の状況、②支援の拠点と居場所づくりを！



地域クラブ移行・指導者34人で教職員が5人
クマ?出没⇒確定するまでしっかり調査する

三原 昭治 (絆)



問 中学校部活動の地域クラブ移行計画による進捗状況は。

教育長 地域クラブ管理事務局を中心に、市内スポーツ競技、芸術団体や中学校との協議、調整を行っている。6年度末には保護者、児童生徒への説明会を実施するなど円滑移行に取り組んでいく。

問 課題となっている指導者の確保状況は。

教育長 柔道、剣道を含め34人で、教職員以外で29人。

問 運営団体は防府市となっているが、責任も含めてクラブを統括するのか。

教育長 トラブルなどの相談には当たるが、事故など

については原則、実施団体が対応することになる。

問 1月にクマの足跡、防犯カメラにクマと思われる映像が映っているなど、地元住民は騒然となったが、事案の取り組みは。

市長 令和元年から目撃情報が7件、捕獲が2件あった。市民の生命を脅かすものであり、危機管理の徹底を指示した。

問 山口大学の専門の先生に判定を依頼したが、結果と判定の根拠は。

産業振興部長 クマという判定。歩き方。

問 未だに動物の正体が断定されておらず、現在も不安や恐怖を感じている住民がいる。専門家による調査を実施し、安全・安心の確保をすべきでは。

市長 危機管理として、今後はしっかり確定するまで対応する。



防災について、耐震化について

和田 敏明 (正論)



能登半島地震等の災害事例を教訓とし、命の被害ゼロを目指したい。特に人的被害を及ぼしたのは、家屋の倒壊や火災ではないか。山口県の住宅の耐震比率は、都道府県別の耐震化率ワースト3と報じられていた。

問 建築基準法の改正により「震度7に耐えられる構造に補強する事」「火事防止のため各住宅に地震対応感電ブレーカーの設置」「上水道管や公共下水道管の耐震化」が求められている。昭和56年5月31日以前に建築された木造住宅の耐震化率と対策は。

市長 山口県の耐震化率：30% 防府市：7,000戸
対策：耐震改修費補助金の増額と住宅耐震改修緊急支援の実施

問 上水道の耐震化率、公共下水道の耐震化率は。

上下水道事業管理者 上水道管路：約28% 基幹管路：約41% 公共下水道：約56%。

※他、山口県耐震化計画・水道事業耐震化率・住宅耐震化の先進事例を参考に質問。

要望 旧耐震化基準住宅の耐震化は高額であり、補助額を上げる努力と上水道・公共下水道の老朽管の耐震化整備と早急な対応を要望。

問 指定緊急避難場所の整備状況について。現在の避難施設容量で足りているのか。足りていなければ、どう対応するのか。

総務部長 これから実態を調査する。

要望 ・早急の実態把握 ・学校や公民館等、指定緊急避難場所のロッカーや額縁等の転倒や落下防止への早急の確認と対応 ・指定緊急避難場所へのスターリンク（衛星インターネットサービス）の設置を要望。
※その他、避難場所での対応と周知について質問。



国民健康保険料
介護保険料の引き下げを

清水 力志 (日本共産党)



問 市内各地で区画線が消えかかっているところが見られる。補修計画は。

市長 パトロールなどで不明瞭なところがあれば適宜、塗り直しなどを実施している。国、県管理道路の通報は、現地で確認をした上で対応を求めている。

問 下水道マンホールの縁の舗装が落ち込み、段差が生じて通行に支障をきたす場合がある。補修を実施してほしい。



上下水道事業管理者 本年度は40箇所補修した。

今後通行に支障をきたす時には早急に修繕する。

問 国民健康保険料について、基金の一部を活用して18歳以下の子どもの均等割の免除をお願いしたい。

生活環境部長 国は個々の事情によらず、一律に保険料の減免を行うことは適切ではないとしており、市独自の減額は難しい。

問 国はマイナ保険証に移行するとしているが、マイナンバーカードを持たない人に対しても困らない対応を。

生活環境部長 資格確認書は当分の間、本人の申請がなくても発行することになっている。

問 介護保険の利用料について、市独自で助成すべきではないか。

健康福祉部長 応能負担が原則で、市独自の助成は考えていない。

**プレミアム付商品券とUJターンについて**

吉村 祐太郎(自由民主党)



問 プレミアム付商品券は紙で発行されているが、アプリやプラスチック製のカード等に切り替えれば商品券を発行するコストが下がり、発行までの時間も短縮でき、市内経済のデータも集まるが導入されるのか。

市長 紙のプレミアム付商品券は商工会議所のアンケートで一定の効果があつたと評価をいただいている。デジタル化する事で享受できるメリットは理解しているが、デジタル化が進んでいない小規模店舗や高齢者向けのスマートフォン講座で、まずは市内のデジタル化を進める。

要望 インバウンドも想定され、キャッシュレス決済

の普及を早急をお願いしたい。

問 防府市の人口が中国地方5県の自治体の中で2年連続で最多の転入数だったが、PRを工夫すればまだ伸び代がある。UJターン促進事業の効果とテレワークに合わせた事業になっているのか。

市長 制度を使って東京圏から移住された方はテレワークも含め7世帯16人だが、制度を利用されなかった方を含めると、東京圏等からの移住は約1,000人程になっている。また、首都圏の移住相談窓口で県等と連携して情報発信に努めている。

要望 移住した後の住みやすさにも直結するので、一部の村社会の文化が色濃く残る自治会等の団体に対して改革を促していただきたい。

**令和8年度からの新たな総合計画の策定**

河杉 憲二(自由民主党)



問 令和3年度から7年度を計画期間とする、第5次総合計画は、「安全・安心を第一にしたまちづくり」をはじめとした6つの重点プロジェクトなどに、取り組んでいる。中間年度が過ぎ、現在の進捗状況は。

市長 市民ギャラリーや文化センターの整備、イオンの平面駐車場の一本化、プリズムストリートの開通、駅北公有地など民間による開発に取り組んでいる。令和6年度には、広域防災広場の整備や防府北基地東道路、国道2号富海・台道地区の4車線化の促進、また、こども家庭センターの設置や第2子以降の保育料や高校生までの医療費の無償化、児童手当の大幅拡充など

子どもたちを全力で応援する。令和7年度には、公会堂北側の防災広場や消防署東出張所、牟礼公民館の整備、そして富海拡幅工事なども完了し、また人口も2年連続本市への転入超過数が増加しており、人口11万2千人以上の目標も達成できる見込み。

問 次期総合計画の策定は、どのように取り組んでいくのか。

市長 第5次計画で示している10年後のまちをイメージして、中関・華浦・大道公民館の建替え、内陸型産業団地の整備、三田尻中関港の利用促進など、新たなプロジェクトの財政需要を考慮し、財政状況を踏まえて策定していきたい。

議会モニターとの意見交換会を開催しました

2月6日に、議会モニターとの意見交換会を開催しました。

議会からは、田中敏靖議長、曾我副議長、各常任委員会委員長、議会改革推進協議会の会長・副会長が出席し、議会モニターの方からは、4名の出席をいただきました。

モニターの皆さんからは、議会のインターネット中継についての感想、議会を傍聴された際の気づき、議会だよりの記述に関するご指摘、子育て世代、若年層の議会への関心の惹起などについて、ご意見をいただきました。

特に、子育て世代、若年層への関心の惹起については、活発なやり取りが行われ、議員との懇談カフェを行い、意見交換を行ってはどうか等のアイデアをいた

だきました。

子育て世代、若年層に関心を持ってもらうことは議会の大きな課題の一つです。

モニターの皆さんとやり取りができ、意義深い意見交換会となりました。



議員研修会を開催しました

1月23日に、元衆議院法制局参事で議会アドバイザーの吉田利宏先生を講師に迎え、第11回目となる防府市議会議員研修会を開催しました。

演題は「議会からの条例入門」で、まず執行部の政策の特徴と、議員からの政策立案の違いについて説明があり、議員の政策提案と親和性のある理念条例、法律補完型条例、新しい価値の提案型条例の解説がありました。

そして、政策提案型議会になるためには、どのような環境を整備すればよいのか、また政策立案のスキルアップのために何が必要なのかについて、具体的な事例を挙げながらの説明を受けました。

研修を通じて感じたことは、「防府市議会はこれまでの一連の議会改革により、政策提案をするための仕組み・環境は整っているが、その活用に課題がある」ということです。

地方議会には、「監視機能」、「住民代表機能」、「政策立案機能」の3つの機能があるとされていますが、多くの議会で、政策立案機能の弱さが課題とされており、防府市議会も同様の状況です。

しかし、変化が激しく先が見通しにくいこの時代においては、政策立案機能の発揮が地方議会に強く求められているといわれています。

今回の研修をきっかけに、政策提案型の議会となるよう努めてまいりたいと思います。



手話通訳による傍聴

市議会では、手話通訳を行うことにより、聴覚障害者の方にも開かれた議会を実現することを目的とする「防府市議会手話通訳実施要綱」を定めています。

本会議で手話通訳を利用いただく際には、事前に手話通訳の方を配置する必要がありますので、傍聴希望日の7日前までに、手話通訳申込書に必要事項を記入の上、市議会事務局に提出くださるようお願いいたします。

なお、手話通訳の方が配置できないときは、お断りすることがありますので、予めご了承ください。

手話通訳申込書は、市議会ホームページからダウンロードできます。提出方法は、持参のほかにも、Fax、E-Mail、郵送が可能です。

詳しくは、市議会ホームページをご覧ください、議会事務局までお問い合わせ下さい。



手話通訳の様子

市議会の傍聴に行こう!

防府市議会では、どなたでも気軽に議会の傍聴することができます。

市政運営のために、条例・予算等をどのように議論しているのか、ぜひ、ご覧ください。

一般質問のほか、常任・特別委員会、議会運営委員会なども傍聴することができます。

事前に手話通訳の方を配置する必要がありますので、傍聴希望日の7日前までに、手話通訳申込書に必要事項を記入の上、市議会事務局に提出くださるようお願いいたします。

なお、手話通訳の方を配置できないときは、お断りすることがありますので、予め御了承ください。

定例会の日程を確認

市議会だよりの裏表紙や、市議会ホームページで開催日程を確認できます。

一般質問の内容は、市議会ホームページに掲載します。

本会議場の傍聴席へ

議会棟玄関から入って、右手にあるエレベーターで3階まで上がり、傍聴受付へお進みください。

受付して傍聴!!

傍聴人受付用紙に住所、氏名を記入し、傍聴券の交付を受け、ご入場ください。
(傍聴席は70席、車椅子対応2席があります。)
傍聴の際は、傍聴席入り口に掲示及び傍聴券の裏面に記載しております注意事項をご確認ください。

タブレット、スマートフォンなどで
本会議の中継をご覧いただけます

防府市議会中継

本会議のライブ中継や過去の録画をご覧いただけます





2月

- 6日 議会モニターとの意見交換会
- 7日 行政視察受入れ（京都府長岡京市）
- 19日 勉強会
全員協議会
- 20日 議会運営委員会
- 26日 3月定例議会開会
議会広報編集委員会
- 27日 予算委員会（全体会）
常任委員会（総務・教育民生・産業建設）
- 29日 本会議（現年度採決）

3月

- 5日 本会議（一般質問）
議会改革推進協議会
- 6日 本会議（一般質問）
- 7日 本会議（一般質問）
議会運営委員会
- 11日 予算委員会（全体会）
- 12日 総務委員会・予算委員会総務分科会
- 13日 教育民生委員会・予算委員会教育民生分科会
- 14日 産業建設委員会・予算委員会産業建設分科会
議会広報編集委員会
- 18日 予算委員会（全体会）
議会改革推進協議会
- 22日 3月定例議会閉会
太陽光発電に関する条例検討協議会
- 28日 議会広報編集委員会

4月

- 5日 議会広報編集委員会
- 22日 教育民生委員会行政視察（～24日）
- 23日 総務委員会行政視察（～25日）
産業建設委員会行政視察（～25日）

6月定例議会の予定

- 6月13日（木）本会議（開会）
- 19日（水）本会議（一般質問）
- 20日（木）本会議（一般質問）
- 21日（金）本会議（一般質問）
- 25日（火）予算委員会（全体会）
- 26日（水）総務委員会
- 27日（木）教育民生委員会
- 28日（金）産業建設委員会
- 7月3日（水）本会議（閉会）

会議の開会時刻は、午前10時です。

なお、日程及び開会時刻は変更になる場合があります。



詳しくは議会事務局までお問い合わせください。

議会事務局 TEL (0835) 25-2182

「議会だより」は再生紙を使用しています。
処分する際は、「雑がみ」として分別収集に出しましょう。

編集後記

議会広報編集委員会（◎委員長、○副委員長）

◎清水力志 ○曾我好則 青木明夫 今津誠一 久保潤爾 三原昭治

年初に能登半島で地震が起きました。お亡くなりになられた方々に心から哀悼の意を表しますとともに、被災された皆様へ心よりお見舞い申し上げます。大変な思いをされている皆様が一日でも早く日常を取り戻せることを願わずにいられません。また、防府市でも昨年に大雨災害が起きています。

この教訓を活かして、更なる防災対策に取り組み、安全・安心を第一としたまちづくりの必要性を痛感しています。表紙の写真は昭和29年に竣工された現在の市役所1号館です。70年間、防府市の顔として役目を果たしてきましたが、その時も終わろうとしています。

市民の皆様に関心しやすい議会だよりの発行に努めてまいります。皆様の感想などを是非お寄せください。